



全国制覇を目指す延工OBのメンバー

日本スポーツマスターズ-16日、広島市で大会開幕

延岡工高バレーボール部OBでつくる「延工OB」がこのほど、国富町で開かれた日本スポーツマスターズ2006県予選バレーボール男子（9人制）で優勝し、8月16日から広島市の県総合体育館などで開かれる全国大会の出場権を手にした。

予選は4チームのトーナメント戦で行われ、延工OBは宮崎40歳Bをストレートで下し、決勝で同Aと対戦。第1セットを落とす苦しい立ち上がりだったが、持ち味のコンビネーションを使った変幻自在の攻撃がさえ、第2、第3セットを連取した。

同高のバレー部は、過去に岩室富雄監督の指揮で国体2位（単独チーム）、春高バレー3位など、全国でもトップクラスの強さを誇った。今回で3度目の全国大会出場となる延工OB、制覇に向けて全盛期の時代の選手を中心に集めた。

心強いのは、春高バレー全国3位の時のセッターで優秀選手、住友金属でも活躍した山形圭二さんが、今年からマスターズ出場規定年齢を満たし、チームに加入したこと。ライトアタッカーで出場し、旭化成で活躍したエース門前武修さんと攻撃の中核を担う。

チームを率いるのは、高校時代と同じく岩室監督。「実力のある選手がそろい、チーム内の競争も激しくなってきた。後衛の守備が安定してきたので、あとは前衛の攻撃力をセッターの加行良光がどう生かすかがカギ」と分析する。

延工OBは全国制覇に並々ならぬ気持ちがある。昨大会チャンピオンになった藤沢マスターズ（神奈川県）は藤沢高OBを主力としたチームだが、当時の春高バレーでは延岡工は準決勝で藤沢高に惜敗。決勝への道を断たれた経験があるからだ。

藤沢マスターズはすでに今大会も出場権を手に入れている。岩室監督は「藤沢マスターズを破り、延工の名前で日本一の悲願を達成したい」と闘志は十分。美村信之主将も「後輩の力を借りるなどして全国で勝つための練習を続けてきました。最低でも、昨年のベスト16は上回りたい」と燃えていた。
出場メンバーは次の通り。

【延工OB】監督＝岩室富雄▽コーチ＝服部成男▽マネジャー＝高橋文代▽選手＝美村信之、橋本佑介、日野勝己、忍賀俊治、弓削一彦、戸田秀幸、門前武修、甲斐義人、三浦武士、加行良光、田口敏信、白木栄作、妹尾真一郎、山形圭二、大山史朗